



総合案内

学部・大学院

附属施設

特色

受験生の皆様へ

イベント情報

在学生・教職員の皆様へ

農学部同窓会



[農学部長メッセージ](#)

[愛媛大学農学部とは](#)

[農学部紹介ビデオ](#)

[オープンキャンパス](#)

[農学部就職情報サイト](#)

[教員一覧](#)

[公開講座\(全学イベントカレンダーへ\)](#)

[教員公募](#)

[農学部紀要](#)

[SUIJI-SLP](#)

[愛媛大学「現代GP」](#)

[愛媛大学「食育」実践プログラム](#)

[農学部内専用HP](#)

[リンク集](#)

[愛媛大学農学部附属農場](#)



CATE

愛媛大学農学部附属環境先端技術センター

FoHReC

愛媛大学農学部附属食品健康科学研究センター

新着情報 2015年4月28日

平成27年度情熱ある学生チャレンジ支援プログラムの募集をはじめました！

平成27年度情熱ある学生チャレンジ支援プログラムの募集を開始しました。目的意識・好奇心のある農学部生のチャレンジを応援します。

興味のある人は、学務チームまでお越しください。また、希望者は、募集要項をご覧のうえ、申請書を記入し学務チームへ提出してください。

みなさんのご応募をお待ちしております！

[情熱ある学生チャレンジ支援プログラム募集要項](#)

[Q & A](#)

[情熱ある学生チャレンジ支援プログラム申請書](#)

[▲このページのトップへ](#)

情熱ある学生チャレンジ支援プログラム 募集要項
【 情熱TC (Try & Challenging) 】

■情熱TCとは：巷では、「最近の大学生は覇気がない、学力が低い」などと言われるが、そんな悪評を吹き飛ばすことができるチャレンジに対して愛媛大学農学部が資金面等で支援する制度です。意欲的かつチャレンジ精神溢れるアイデアを募集し、採択されたプログラムに資金提供などの様々なサポートを行うことで、情熱を持ち、何かに打ち込む学生生活を推進します。

■申請要件：本学部の学生（1～4回生）。個人、グループを問いません。
平成28年2月開催の成果発表会時に在学しており、発表できる者が最低1人いること。

■内容：独自の観点から発想・企画した、調査・研究に限らないあらゆる活動（国内での活動に限る）。ただし、卒論のテーマを除きます。
【自分の能力をステップアップさせるもの・キャンパス環境を向上させるもの・環境問題に取り組むもの・地域社会に貢献するもの・大学教育を通じて身につけた力を使って実社会のリアルな問題解決に役立てるもの・全国的なコンテスト等に出場するもの など】

■プログラム例：愛媛の水生昆虫（甲虫、半翅）の現状を探る。
顧客にみる、直売所の現状と今後の可能性 緑のキャンパスづくり
地域のお年寄りへのボランティア 加茂川の魚類生態系調査
日本のこだわり野菜と米でエコクッキング！
育林技術の歴史と未来～日本三大林業地域を訪ねる～
農民米を作ろう&園児との農業交流

■活動期間：平成27年6月中旬～平成28年2月28日（土）

■応募：申込み締め切り 平成27年5月22日（金）
提出先 農学部学務チーム（e-mail：agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp）
応募書類 農学部ホームページからダウンロードしてください。
(http://www.agr.ehime-u.ac.jp/)
様式1～4及び単独出張の調書（旅費を使用する場合のみ提出）
をUSB等の電子ファイル又は電子メール（添付ファイル）で提出。
代表者等の学生生活担当教員承認書（様式4）及び単独出張の
調書は、用紙で提出。

■支援内容：対象プログラム1件当たり、「10万円」以内を支援します。
経費は、愛媛大学会計規則等に則り管理し、当プログラムのために支出します。
ただし、支援金を旅費に使用する場合は、学生の単独出張の調書の提出が必要になります。

■採択数：総支援金額50万円の範囲内で、企画内容等により採択します。
すでに金銭的な支援を受けているプログラムは、採択されません。（プロジェクトE・4大学間「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」と重複できません。）

■採択審査：情熱TC審査委員会で審査します。（書類審査・ヒアリング）
※代表者がヒアリングに出席してください。出席しない場合は、審査の対象となりません。

■成果発表会：活動期間終了後、成果発表会を開催します。
活動内容を記したA1版ポスター、発表用パワーポイント及び活動報告書の作成が義務づけられます。また、その内容をホームページで公開します。

平成27年度 愛媛大学農学部
情熱TCに関するQ&A

★メンバーは農学部生だけでないといけませんか？

取組代表者が農学部生であるなら、他学部の学生がメンバーでも構いません。

★どのような取組が対象となりますか？

新しいチャレンジ、仲間と協力して何かを成し遂げる事等、独自の観点から発想・企画した、調査・研究に限らないあらゆる活動です。新たなサークル活動なども対象となります。

★昨年度申請して採択されなかったのもう一度同じものを申請して良いですか？

昨年度と同じものをそのまま申請するのではなく、ブラッシュアップさせたものであるなら構いません。

★海外で活動をして良いですか？

情熱TCの活動は日本国内での活動に限ります。

★支援金はどのような経費に使用できますか？

物品購入費、旅費※、印刷費などです。経費は、愛媛大学会計規則等に則り管理しますが、農学部の会計チームが全面的にバックアップします。

※支援金を旅費として使用する場合、学生の単独出張の調書を提出する必要がある。

(単独出張の調書例参照)

取組内容

4つの設問項目について、2ページ以内で記入してください。また、必要に応じて図表や写真等を組み入れても構いません。但し、その場合であっても規定のページ数内で行ってください。

(1) 取組の名称 (20字以内で表示)

(2) 取組の目的

(3) 取組内容及び特色

(4) 取組の効果

予 算 書

区 分	員数	単 価	金 額	備 考
		円	円	
計				

※「予算書」の記載内容に沿って経費が支払われますので、できる限り詳細を記入してください。記載していない内容で経費が発生した場合、支払えない場合があります。

また、交通費に使用する場合は、愛媛大学生以外の方の交通費は支払いできませんので注意してください。

(様式4)

代表者等の学生生活担当教員承認書

個人又は代表者

氏 名 _____

学籍番号 _____

上記の者が情熱ある学生チャレンジ支援プログラムに応募し、採択された場合は取組を実施し、その成果を発表することを承認します。

学生生活担当教員

専門教育コース

職名 ・ 氏名

印

(単独出張の調書例)
平成 年 月 日

情熱 TC における [情熱 TC 申請者] の単独出張の調書

農学部教授 ○○

今回の出張は、[情熱 TC 申請者] による出張である。交通手段として、JR を使用する。

今回の出張では、活動地の [場所] まで向かうためには JR 以外、公共交通機関が存在しない。また、情熱 TC は学生の自主性を高める目的もあるため、学生主体で安全管理や活動を行うことが求められる。そのため、学生単独で出張しなければならない。

目的地は [場所] であり、所要時間は約 1 時間である。現地での安全確保のために、集合時間は 1 時間半前とし、ゆとりを持って移動する。

現地で事故・災害に遭った場合は、○○ [担当教員] に連絡を行うと同時に、状況に応じて救急車の手配を行う。また、事故を予防するためにも、持ち物の確認や熱中症対策を十分に行う。

メール・電話等で定期的な連絡を取れる体制をとり、現地での状況を○○ [担当教員] が把握できるよう努める。